



みんなで考えよう。みんなに伝えよう。

# 人権標語・ポスター

みんなが住みやすい明



## 第四福田小学校



四福小4年 川畑 茉穂



四福小6年 竹内 智美

- |  |  |   |  |   |  |
|--|--|---|--|---|--|
| <p>四福小1年 岩中 奏祐</p> <p>まってるの<br/>おろくてもだいじょうぶ<br/>ともだちだかろう<br/>ねんくみ (岩中奏祐)</p> | <p>四福小1年 富谷 海陸</p> <p>ありがとう<br/>まほうのことばで<br/>ねんくみ (富谷海陸)</p>       | <p>四福小2年 岡林 沙和</p> <p>みんなは<br/>それぞれ<br/>二ねんくみ (岡林沙和)</p>              | <p>四福小2年 桢嶋 瑞</p> <p>けんかゼロ<br/>みんなにうたう<br/>まほうのことば<br/>二ねんくみ (桢嶋瑞)</p> | <p>四福小3年 大西 翔太</p> <p>やさしい言葉<br/>みんなが使えば<br/>うれしい気持ち<br/>二ねんくみ (大西翔太)</p> | <p>四福小3年 井上 千里</p> <p>けんかなし<br/>えがおを毎日<br/>にちじょうに<br/>三ねんくみ (井上千里)</p> |
| <p>四福小4年 池田 風里</p> <p>ありがとう<br/>なのよくなま<br/>まじらば<br/>四一組 (池田風里)</p>           | <p>四福小4年 早島 佑星</p> <p>助け合おう<br/>みんなが同じ<br/>人だから<br/>四二組 (早島佑星)</p> | <p>四福小5年 石橋 聖華</p> <p>差別なし<br/>少しの差別が<br/>いじめのもと<br/>五年二組 (石橋せい華)</p> | <p>四福小5年 鳥越 匠</p> <p>助けあい<br/>みんなの<br/>かげやまを<br/>五年三組 (鳥越匠)</p>        | <p>四福小6年 安原 里香葉</p> <p>見つけるよ<br/>君の心を<br/>救うため<br/>六年四組 (安原里香葉)</p>       | <p>四福小6年 長谷川 寧音</p> <p>その笑顔<br/>だれかを元気に<br/>させろかも<br/>六年二組 (長谷川寧音)</p> |

## 第五福田小学校



五福小3年 長谷川 颯



五福小4年 村田 海伊

- |  |   |  |   |   |   |
|--|---|--|---|---|---|
| <p>五福小1年 石本 信一朗</p> <p>つたわるよ<br/>ますくのわくの<br/>やさいさ<br/>いしほんじちろう</p> | <p>五福小1年 笹邊 ひより</p> <p>えがおはみんなの<br/>たからもの<br/>ヤサバハユ</p> | <p>五福小2年 市島 力斗</p> <p>やーしーはみんなの<br/>みらいかえていく<br/>さーしー<br/>力斗</p> | <p>五福小2年 渡邊 詩大</p> <p>やめようよ<br/>言われてされて<br/>いじめな<br/>わたなべうた</p> | <p>五福小3年 山本 素葉</p> <p>れいわせな<br/>わくわくするわ<br/>山本そら</p>      | <p>五福小3年 難波 心陽</p> <p>みんながよく<br/>にこにこえがお<br/>なんは心陽</p>    |
| <p>五福小4年 畑 花音</p> <p>ありがとう<br/>その言葉<br/>みんなえがお<br/>畑花音</p>         | <p>五福小4年 畑 花音</p> <p>その言葉<br/>みんなえがお<br/>畑花音</p>        | <p>五福小5年 河原 桃恵華</p> <p>その言葉<br/>言ったらだめだよ<br/>さすつよ<br/>河原桃恵華</p>  | <p>五福小5年 楠 權世</p> <p>やめようよ<br/>いじめはせつない<br/>ブーメラン<br/>楠權世</p>   | <p>五福小6年 渡邊 莉空</p> <p>その言葉<br/>さすつよ<br/>大丈夫?<br/>渡邊莉空</p> | <p>五福小6年 松岡 温</p> <p>助けあおう<br/>求める声<br/>すくえはに<br/>松岡温</p> |

楽しい社会を築こう

みんなの素晴らしい作品が  
みる人の心を癒します。

## 水島小学校

水島小3年 栗坂 優衣  
みんながなかなかな  
世界をつくらう

水島小3年 岸田 唯那  
大切なみんながいれば  
うれしくて元気になる

水島小2年 樋田 桜希  
なまがよくあそぶ  
けんかなく

水島小2年 高橋 大地  
みんなであたすけあてい  
クラスにしよう。

水島小1年 早川 透空  
いよいよこころを  
みんながえかか

水島小1年 板倉 結生  
けいがかがえかか  
すれんせなえかか



水島小5年 岡本 歩樹

水島小6年 神山 暖翔  
一人じかた  
自分の室は

水島小6年 小田 萌乃  
友だちは  
宝に残る

水島小5年 山下 陽平  
差別だよみえないとこで  
してるかも

水島小5年 石山 友貴  
友達は どんなどきでも  
そばにいる

水島小4年 安田 彩音  
ともだちの  
やさしさを  
たいせつに

水島小4年 板谷 奏社  
きみのせきのとなり  
そばはたいせつな  
ともだち



水島小6年 岡田 華奈

## 水島中学校

水島中学校 2年 寺本 結菜  
なくそうよ  
一人ぼちの  
友達を

水島中学校 2年 和気 優空  
大丈夫?  
君の一言  
うれしいな

水島中学校 1年 高山 粟花  
考えよう  
自分も相手も  
大切に

水島中学校 1年 野川 隼瑠  
いじめなし  
みんな笑顔で  
平等だ



水島中3年 阿部 龍真

水島中学校 3年 高宮 優斗  
挨拶は  
笑顔が増える  
おまじない

水島中学校 2年 小野 明日香  
こんにちは  
挨拶すると  
咲く笑顔



水島中3年 伊原 佳奈



## 楽しさ・面白さから友達同士がつながっていく



～生き物を囲んで笑顔いっぱい～

倉敷市立第五福田認定こども園

こども園の園庭には季節に応じて様々な虫が登場します。小さいクラスから大きいクラスまで虫が大好きな子どもが多く、「ダンゴムシが丸くなったよ!」「アリさんが歩いているよ!」と虫に触れて楽しんでいきます。その一方で虫の苦手な子どももいます。

あるクラスにザリガニがやってきた日の様子です。飼育ケースに入ったザリガニを見て「うわあ!ザリガニのはさみ強そうだね!」とみんな興味津々で眺めていました。するとA児がザリガニを掴んでうれしそうに近くの友達に見せていました。「すごいね!A君ザリガニが掴めるんだね!」と保育者が声をかけると「Bちゃん見て!」とB児の顔の前にザリガニを近づけました。B児は「やめて!」と言って顔を背けました。実はB児はザリガニに興味はありますが、触るのは苦手だったのです。保育者は「あつ、Bちゃんはザリガニがちょっと苦手かもしれないね」とA児に声を掛けました。A児にとっては仲良しのB児にザリガニを見せてあげようと思つての行動だったのだと思います。そしてその後、A児が「ここをこうやって持つんだよ」と他の友達に教えてあげようとした時にザリガニが「ピン!」と尾を振り、水がみんなにかかって大爆笑。少し離れて見ていたB児もそれには思わず笑ってしまいました。

子どもたちが見たり、触れたり、感じたりしてそれぞれが「面白い」と思える瞬間が園生活の中に数多くあると思います。その瞬間を共有することで保育者や友達とつながるということを私たちが意識しながら子どもたちの興味や関心が広がっていく環境作りに努め、遊びを通して子どもから出てくる“楽しい”を大切に笑顔いっぱいのこども園にしていきたいと思つています。



## ひろがれ

なかよしの輪

倉敷市立第四福田小学校

本校では、5月にペア学年での交流活動を行ったり、7月と12月の2回、友達の良さを互いに見つけあう「なかよし週間」に取り組んだりして、なかよしの輪を広げています。

5月にはペア学年での交流活動を行いました。上級生が、本の読み聞かせをしたり、グループでかるたやお絵かき、鬼ごっこ遊びなどをして遊んだりして楽しい時間を過ごしました。休み時間に、上級生が下級生と仲よく遊ぶ姿や、廊下ですれ違った時などに笑顔で手を振る姿が、校内のあちらこちらでよく見られるようになりました。

また、7月のなかよし週間では、友達に優しくしてもらってうれしかったことをハート型のカードに書いて友達に伝えました。友達からもらったカードを読み思わず笑顔がこぼれる、そんな様子が各教室で見られ、学校中が温かい雰囲気になりました。優しくしてもらえたことが当たり前ではなく、「ありがとう」という感謝の気持ちにつながり、その気持ちを伝えることで、一人ひとりが、自分の良さを再確認したり、自己肯定感を高めたりすることができました。朝学習の時間には「心ってどこにあるのでしょうか。」「おくりもの」という本の読み聞かせを全校放送で行いました。目には見えないけれど本当に大切な心について考え、様々な考えがあつてよいということを学んだり、見方を変えることで、世界ががらっと変わり自分の嫌いを好きに変える知恵や優しさに気付いたりすることができました。

自分が好き、友達が好き、  
なかよしの輪が  
どんどん広がって  
いきます。



世の中になつていくと信じて。  
助け合い、支え合いができる  
言葉で攻撃するのではなく、  
誰かがコロナに感染しても心無い  
徹底していきたくとも思っています。  
人の立場に立った発言や行動を  
そして、常に感染してしまつた  
ことをしていきたくないと感じています。  
可能性があります。だから僕は、自分にできる  
新型コロナウイルス感染症は誰でも感染する  
た。

一つ目は、完全に回復しているにも関わらず、「治っていない」という偏見が広まっているからだと感じました。そして、二つ目は、新型コロナウイルス感染症は見えない敵です。世界中で猛威を振るい、不要不急の外出自粛やさまざまなイベントの中止なども起こっていますが、身近に感染した人がいないために、深刻に感じない人がインターネット上などに心無い書き込みなどをしてしているのだということも感じました。

そんな中、インターネット上に目を向けると、感染者に対して、「コロナをうつすな」、「学校に来るな」などの心を痛める書き込みも多々あります。そこで僕はなぜ、差別や偏見が起こるのかを考えました。

そんな中、インターネット上に目を向けると、感染者に対して、「コロナをうつすな」、「学校に来るな」などの心を痛める書き込みも多々あります。そこで僕はなぜ、差別や偏見が起こるのかを考えました。



差別や偏見のない世界へ

倉敷市立水島中学校 3年 杉山 義真

